

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目1 教育理念・目的・方針

点検項目		自己評価
①	学院の教育理念や目的、育成人材像は定められているか	A
②	学院の教育理念や目的、育成人材像が明文化され公表されているか	A
③	学科ごとの教育方針が明文化され公表されているか	A

◆ 自己点検評価の理由(他、課題や対応があれば)

開学より「建学の精神」を基本とし、誠の医療を常に提供できる医療人を目指すべき人材を育成している。
学院のHPでは、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3ポリシーを掲載し、誰に対しても基本方針が理解できるように公開している。
学生に対しては各学科・学年でのガイダンスや前期・後期のオリエンテーションにおいて冊子媒体を活用し説明している。
昨年に引き続き感染対策の為、保護者会総会を中止とし、役員会による決算報告と予算承認、役員改選の報告と併せて、学院の教育方針等を書面等にてお伝えした。

項目2 学校運営

点検項目		自己評価
①	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されてるか、有効に機能しているか	A
③	国のガイドライン等で定める基準が遵守されているか	A
④	情報システム化による業務の効率化が図られているか	B

◆ 自己点検評価の理由

前年度の学生動向や官公庁の指針、規則改定などをふまえ、学内で継続的に審議し次年度に向けての事業計画を立案している。
運営会議、カリキュラム検討(FD)委員会・協議会等、学則に明文化しており、今年度はコロナ禍においても迅速に対応し有効的な機能を果たしている。
国の基準はもとより、各職能団体が提示している業務指針及びガイドラインを参考に、都度、学則の改定を実施している。また、第三者機関の審査規定を遵守し、自己点検をしながら適宜クリアしている。
全体予算の中で課題や設備投資の優先順位もあり、全てが一度に達成できていないが、年計画に沿って適宜解決可能な課題をクリアしている。
コロナ禍において基本的なインターネットの環境整備を進めてきた。今後さらにハードとソフトの両面でアップグレードを図る必要がある。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目3 教育活動

点検項目		自己評価
①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A
②	教育目標に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A
④	関連分野の医療施設との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	A
⑦	成績評価・単位基準・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A
⑧	人材育成、目標に向け講義を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A
⑨	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	A
⑩	教員の能力開発のための研修等が行われているか	B

◆ 自己点検評価の理由

教育理念に沿いながら養成施設指導ガイドラインの一部改正に伴うカリキュラム編成への準備を進め迅速に対応した。シラバスを公開し、学生は将来の自己像を具体的にイメージしながら自主的な学習への取り組みができるよう早期からの個別学習や相談支援を強化し対応した。さらに医療専門職として必要な高度医療に関する知識・技術の習得はもとより、医療倫理等とおし、職業人としての意識と自覚を確立できるようFD委員会と連携し、学生の授業評価も参照しながら講義内容を工夫し対応している。コロナ禍での学生教育では、オンライン講義や新しい生活様式に適應できるよう実体験をおし適宜適切な対応に心がけ、共に考える姿勢が身につく自主的な行動を促すことができた事は一定の成果といえる。今年度も外部講師の対面授業が困難な状況が継続したが、オンライン講義で対応しつつ学生の学習到達度に不利益が生じないよう工夫した。今年度、オンラインを利用した講義は、前年度の経験から円滑に行うことができた。今後もIT機器の更なる活用や取り組み必要がある。

項目4 教育成果

点検項目		自己評価
①	資格取得率の向上、維持が図られているか	A
②	就職率の向上、維持が図られているか	A
③	退学率の低減が図られているか	B
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B

◆ 自己点検評価の理由

常に国家試験合格率100%を目指し、国家試験対策講義や模擬試験を実施し個々の学生に応じた学科別対応や個人指導を計画し取り組んでいる。理学療法学科 新卒者 合格率 91.4% (全国平均 88.1%) * 昨年95.1%、一昨年100% 就職内定率:97.1%(3月時点) 作業療法学科 新卒者 合格率 100% (全国平均 88.7%) * 昨年に引き続き3年連続100% 就職内定率:88.9%(3月時点) 就職に関して、全国から多数の求人があり学生の希望を聞きながら早期からの相談支援を実施している。退学率の低減に対しては、日頃から学生の学習態度や生活面でサポートし適宜必要に応じて個別指導を早期から実施している。また、精神面でのサポートに関しては、カウンセラーを配置し担任とは別の立場でサポートしている。在学生の社会的な活動では、学習に支障が無い範囲で積極的にボランティア活動への参加を推奨している。卒業生は卒業後も積極的に参加している者も多数いる。今年に関しては、各イベントが中止されほぼ全てのボランティア参加が困難であった為、過去の映像等を活用し対応した。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目5 学生支援

点検項目		自己評価
①	就職に関する体制は整備されているか	A
②	学生相談に関する体制は整備されているか	A
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	C
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	C
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	C
⑦	保護者と適切に連携しているか	B
⑧	卒業生への支援体制はあるか	A

◆ 自己点検評価の理由

①求人閲覧室を設置し学生はいつでも求人情報を得られる環境にある。また、希望調査を行い随時就職相談の機会を設けている。
②学生相談に関しては、各学年複数担任制を導入し日々の出欠確認から生活面と学習面のサポートを実施、精神面ではカウンセラーに繋げ早期に対応。
③成績優秀者への学費免除等、特待生制度や表彰の機会を設けたり、学納費に困窮した場合の相談も個別窓口を設け対応している。
④健康診断の実施・日々の健康チェック及び行動履歴の把握に務める。体調不良者は附属病院での受診等。医療面における支援体制を整備。
⑤課外活動は、学生自治会等を通して活動している。その際に相談などあれば支援を行っている。
⑥入学時の宿舎案内、各種任意保険、生活防犯対策、実習生活の対策等ガイダンス時に外部から専門家・講師を招き対応している。
⑦学生状況を把握し学習面・生活面で気になる学生への早期把握及び支援の目的で保護者へ連絡。保護者面談等を実施し学院と家庭と連携している。
⑧勉強会や研修会等に関して学内施設の提供等対応している。

項目6 教育環境

点検項目		自己評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B
②	学外の実習施設について十分な教育体制・生活環境を整備しているか	A
③	防災に対する体制は整備されているか	C
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	B

◆ 自己点検評価の理由

指定規則の一部改正に伴う新規教材等への対応については随時整備している。その他、教育上必要な教材の点検と整備を実施し対応する。
オンライン講義に対応できる機材や備品の追加や部屋の確保。コロナ感染対策に関わる消毒液及びマスクの配備や体温チェックに必要な検温計の補充、施設内の教室利用や食堂利用時間の調整等できる限りの感染対策を実施。
実習に対しては、1.実習指導者講習会のサポート 2.実習受け入れ中止施設の振り替え調整や代替実習への対応 3.実習配置と宿舎の確保など 4.継続して宿舎費や生活備品及び移動にかかる交通費の一部負担対応等、学生間で格差が生じないように配慮した。
③危機管理マニュアルを見直しながら継続的に安全安心できる環境整備を心がける。一点、耐震診断を行うも補強工事が完了していないことが懸念材料である。整備新規図書の購入と既存図書の整理をしながら教育上必要な資料等の整理対応を行う。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目7 学生募集と受け入れ

点検項目		自己評価
①	学生募集活動は適正に行われているか	A
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A
③	学納金は妥当なものとなっているか	B

◆ 自己点検評価の理由

<p>広報室を中心に県下の高校を中心に訪問を実施している。その際に①学院パンフレット ②募集要項 ③オープンキャンパスの案内 ④学院の教育実績 ⑤教育の方針説明を行っている。また、入学した学生状況については、学習と生活両面の状況報告を行っている。 HPIによる入試情報(試験日程及び科目や検定料等)や入学後の諸経費についても公開し対応している。</p>

項目8 財務

点検項目		自己評価
①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
②	財務について会計監査が適正に行われているか	A
③	財務情報公開の体制整備はできているか	A

◆ 自己点検評価の理由

<p>年度末には、事業計画に沿っての反省と課題を整理し、年度初めには前年度の反省を踏まえ事業計画を立案して報告書を作成。 報告書は、理事会・評議委員会へ提出し承認を得ている。 財務の情報公開は法人本部にて一括掲示している。学院で申し出を受けた場合、紙面を提示する体制をとっている。</p>

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目9 法令等の遵守

点検項目		自己評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
④	自己点検・自己評価の公開を行っているか	A

◆ 自己点検評価の理由

①毎年所管機関へ現状を報告している。重要事項については学院会議により決定している。
②個人情報保護規程を設け、対応している。
③第三者機関(リハビリテーション教育評価機構)により定期的な評価を受け、その際に自己点検をし問題点について改善している。
④学院のホームページに一般公開している。

項目10 社会貢献・地域貢献

点検項目		自己評価
①	自治体事業への協力	B
②	地域住民への貢献、公開講座等を実施しているか	C
③	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B

◆ 自己点検評価の理由

例年、実施していた活動や事業がコロナ禍で一部中止や延期となり十分な対応が困難であった。以下実施していた事業
①愛媛県障害者スポーツ大会へのサポート ②傷害予防のための地元中学校へのストレッチ指導 ③地元青年団主催行事に対するボランティア活動 ④地元河川の清掃活動 他、地域支援事業への参画は継続し対応する。
ボランティア活動は、学生の学業に支障のない時間帯や曜日になるため、学生の休日・休息日や自主勉強、健康やストレスなども考慮し、学科、学年別、有志など無理のない範囲で行えるよう学院として可能な範囲で継続的にサポートしていく考えである。